

# 小規模企業景気動向調査 [2024年12月期調査]

## ～ガソリン補助金の縮小による影響が大きい小規模企業景況～

### <産業全体>

12月期の産業全体の景況は、売上額DIがわずかに上昇し、採算・資金繰り・業況DIはわずかに低下した。一部業種において、年末年始の需要増加の好影響があった一方で、ガソリン補助金の段階的な縮小によるコスト増加の悪影響が大きいとのコメントが多かった。産業全体において、前年同月比で大きく改善したと言えるDIはなく、長引く物価高騰や最低賃金の引上げ等、事業者にとって厳しい1年間だったことが窺える。

	DI	11月	12月	前月比
売上額		7.5	9.3	1.8
採算	▲	15.4	16.4	1.0
資金繰り	▲	12.9	14.7	1.8
業況	▲	10.9	12.8	1.9

### <製造業(食料品、繊維、機械・金属)>前月の改善傾向から一転、足取りが鈍くなった製造業

製造業は、売上額DIがわずかに低下し、採算・資金繰り・業況DIは小幅に低下した。食料品関連は、前年同月比で全DIが低下した。天候不順による生鮮食品の値上がりから価格転嫁が直ぐに反映していない状況である。繊維関連は、製造業の中で売上額DIが唯一マイナス値であり、消費者の買い控えの影響が他業種と比較して大きいとのコメントがあった。機械・金属関連は、全DIが低下した。引き続き、設備投資による生産性向上に取り組んでいるかが、事業者の明暗を分けている。

	DI	11月	12月	前月比
売上額		10.4	9.7	▲0.7
採算	▲	15.2	18.2	▲3.0
資金繰り	▲	11.8	15.5	▲3.7
業況	▲	11.3	14.3	▲3.0

### <建設業>ガソリン補助金の縮小による影響の長期化が懸念される建設業

建設業は、売上額・採算・業況DIがわずかに低下し、資金繰りDIは小幅に低下した。これまでと同様に、受注量は他業種と比較して堅調であることから、比較的ポジティブなコメントが多い傾向である。一方で、ガソリン補助金の縮小による、建設機械や工事車両の燃料コストの高騰について言及するコメントが急増した。既存の工事契約案件において、契約後に価格転嫁をすることは難しく、長期的に利益を圧迫することが懸念されている。

	DI	11月	12月	前月比
売上額		13.4	12.5	▲0.9
採算	▲	14.3	15.8	▲1.5
資金繰り	▲	13.2	16.3	▲3.1
業況	▲	8.8	10.4	▲1.6

### <小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)>継続して改善傾向にあることが窺える小売業

小売業は、売上額DIが大幅に上昇、採算DIは小幅に上昇、資金繰りDIはわずかに上昇し、業況DIはわずかに低下した。売上額・採算・資金繰りDIは3ヶ月連続の上昇となり、他業種と比較すると改善傾向にある。小売業の全業種において、売上額DIが大幅に上昇し、年末年始の需要増加の影響を受けた。消費者の節約志向が高まる中、価格設定や商品戦略に工夫を凝らす事業者が増えているとのコメントがあり、今後もそういった取り組みの重要性が増していくと思われる。

	DI	11月	12月	前月比
売上額	▲	12	6.1	7.3
採算	▲	21.1	18.6	2.5
資金繰り	▲	17.6	16.9	0.7
業況	▲	18.1	18.4	▲0.3

### <サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)>徐々に景気が後退しているサービス業

サービス業は、売上額DIがわずかに上昇、資金繰り・採算・業況DIは低下した。また、前年同月比で見ると全DIが低下した。旅館関連は、前年同月比で全DIが低下し、インバウンド需要はあるものの、長引く物価高騰により徐々に苦しい事業者が増えていることが窺える。クリーニング関連は業況DIが、理・美容関連は採算DIが1年間で最低値であった。両業種ともに年末年始の需要が想定以下だった中、ガソリン代の他、石油系の材料の高騰が続く苦しい状況であった。

	DI	11月	12月	前月比
売上額		7.4	9.1	1.7
採算	▲	11.0	13.1	▲2.1
資金繰り	▲	8.7	10.2	▲1.5
業況	▲	5.7	8.0	▲2.3

#### 調査概要

・調査対象: 全国303商工会の経営指導員(有効回答数: 239/回答率 78.9%)

・調査時点: 2024年12月末

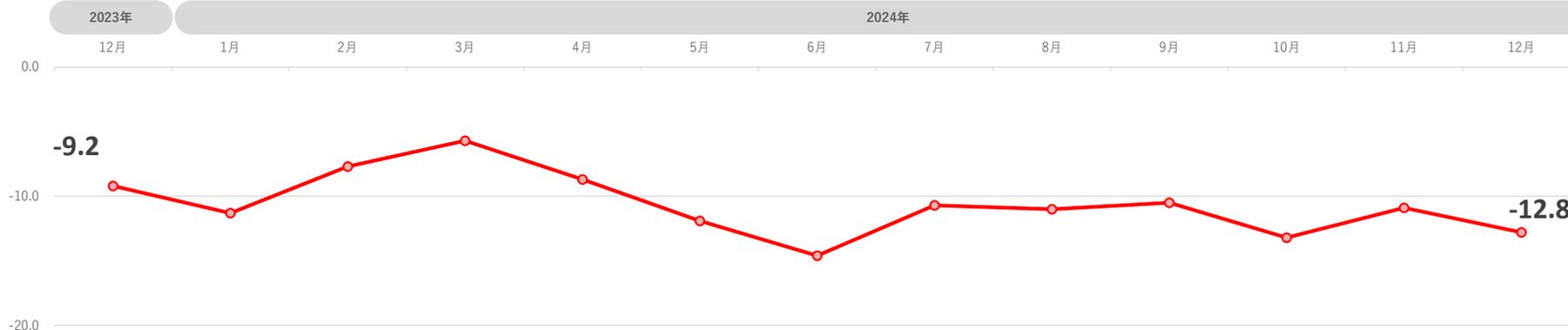
・調査方法: 対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

## 小規模企業景気動向調査 産業全体の業況DIグラフ～過去20年のトレンド～

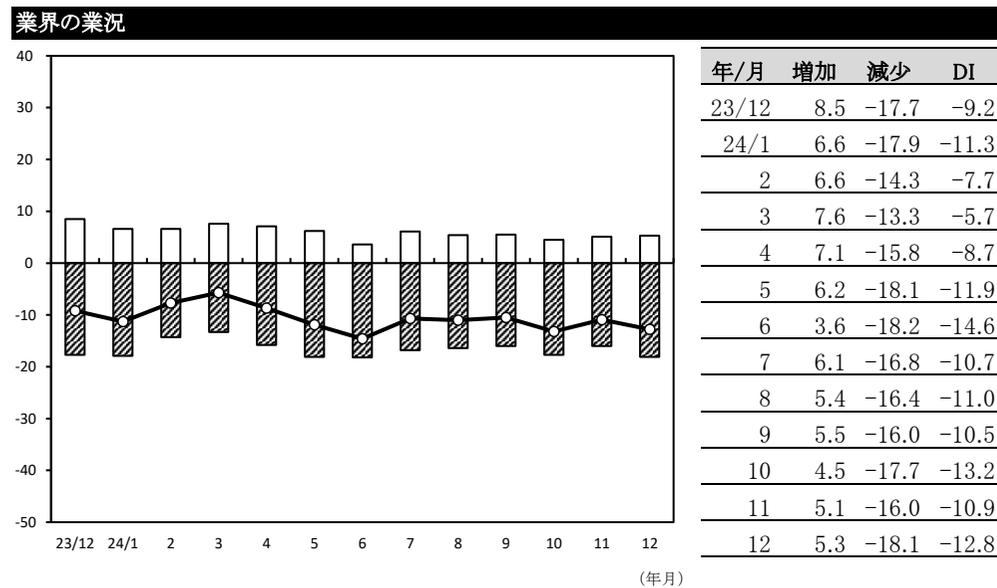
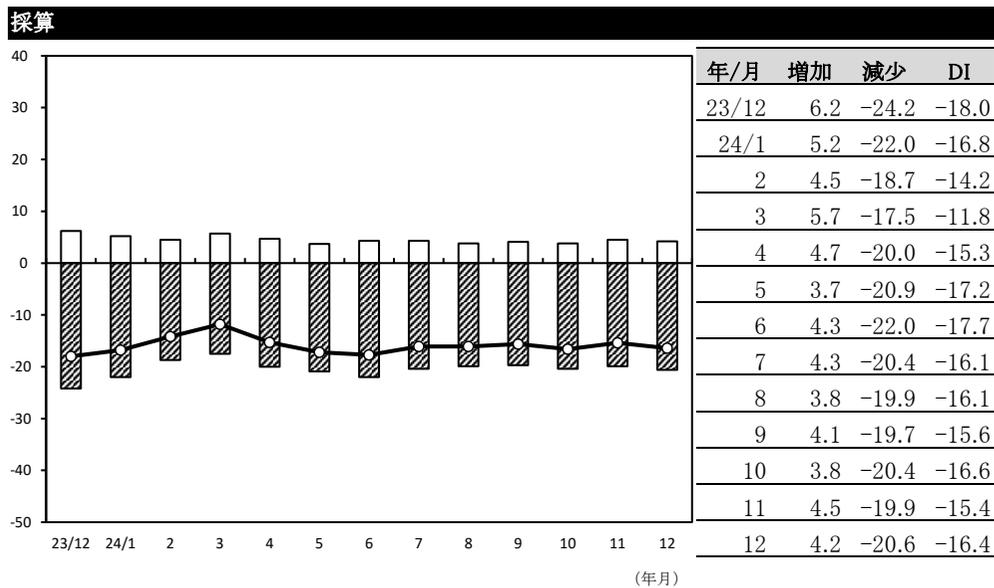
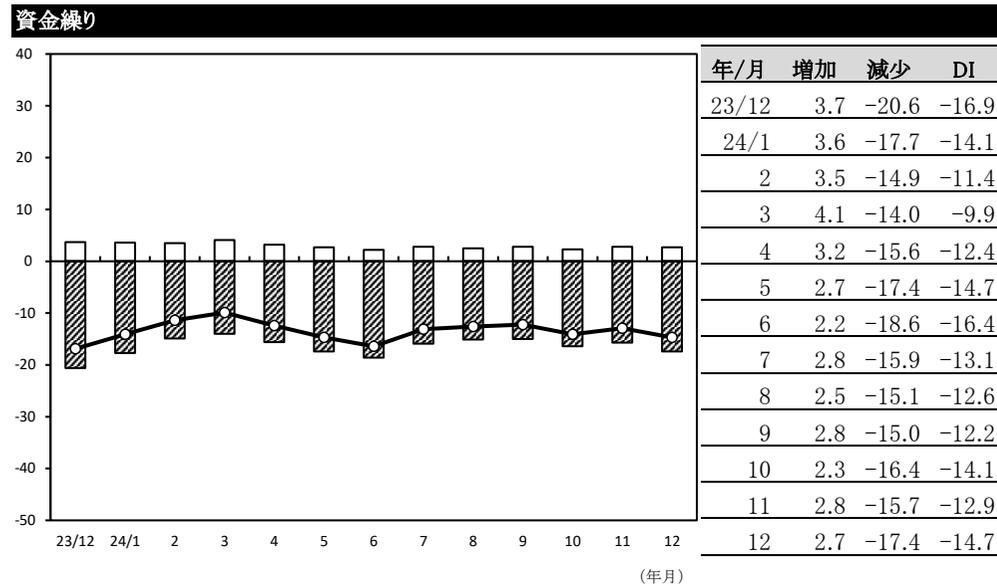
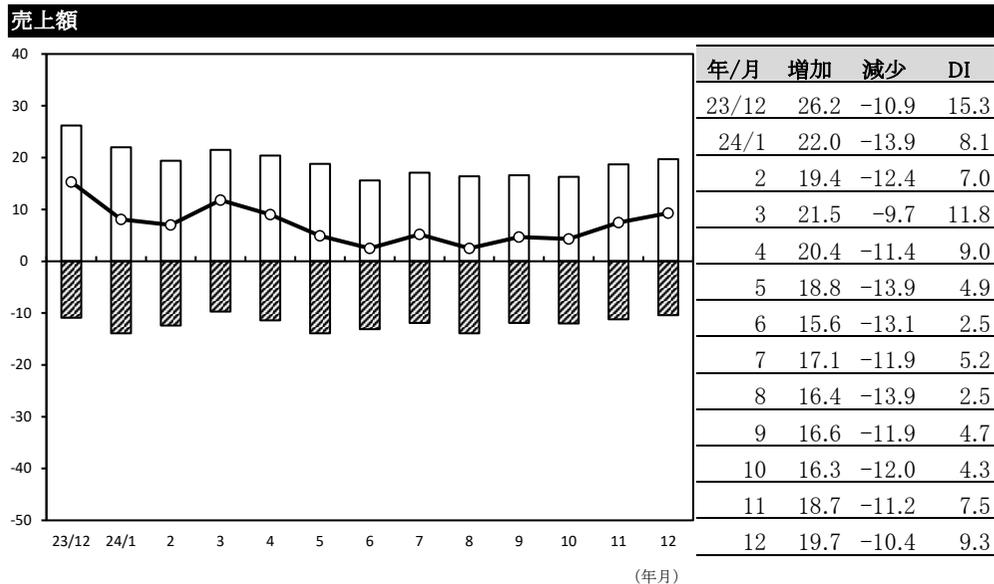


## 産業全体の業況DIグラフ～直近1年間～



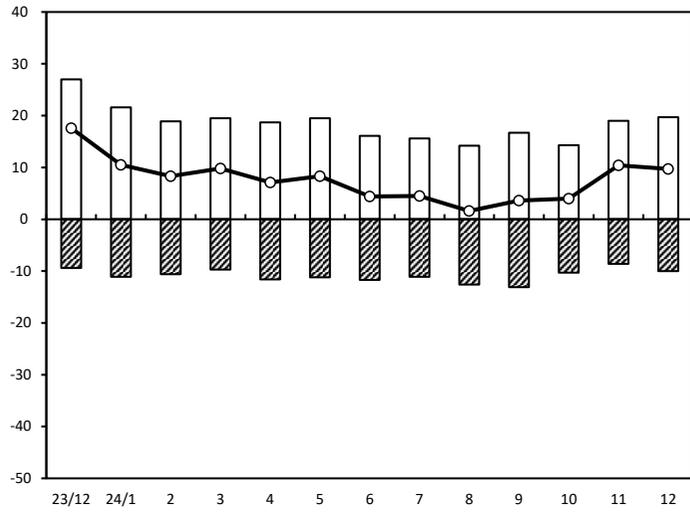
# 小規模企業景気動向調査(2024年12月期)

## 産業全体(前年同月比)



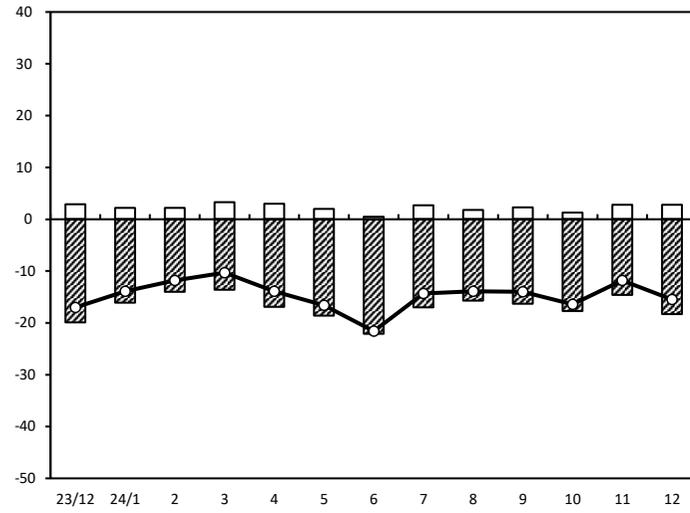
## 製 造 業(前年同月比)

### 売上額



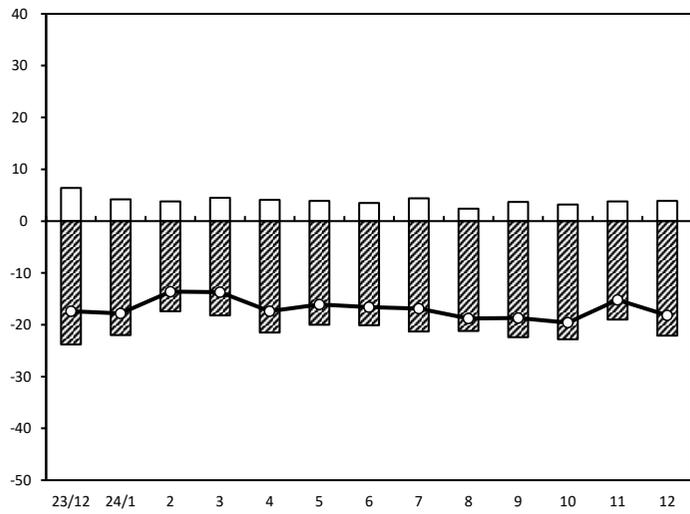
(年月)

### 資金繰り



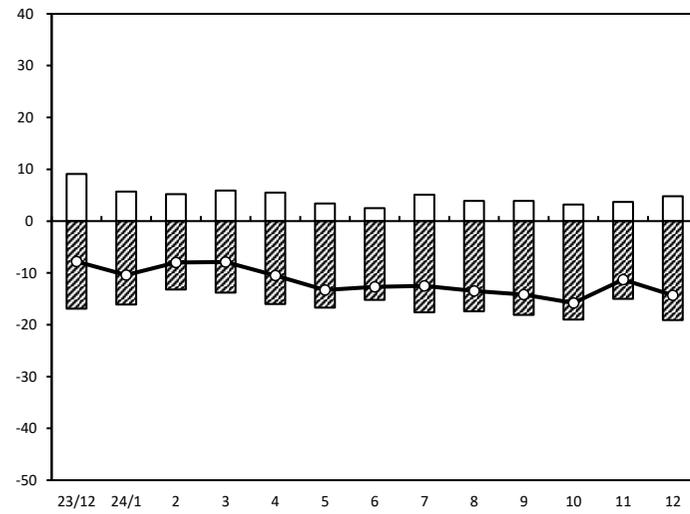
(年月)

### 採算



(年月)

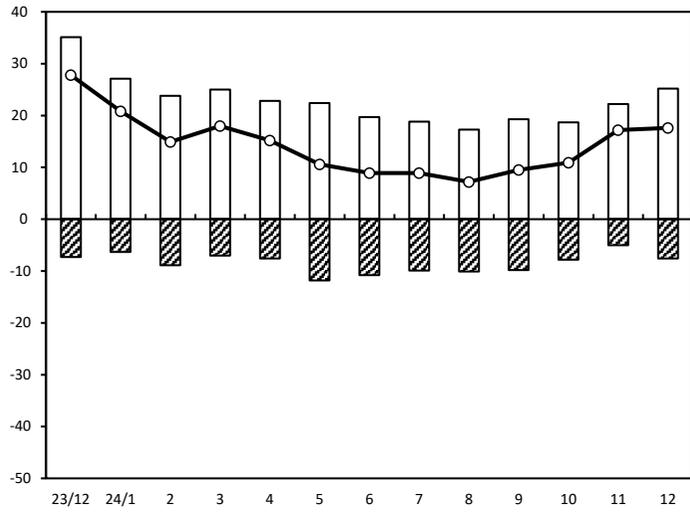
### 業界の業況



(年月)

# 製 造 業 【食料品】 (前年同月比)

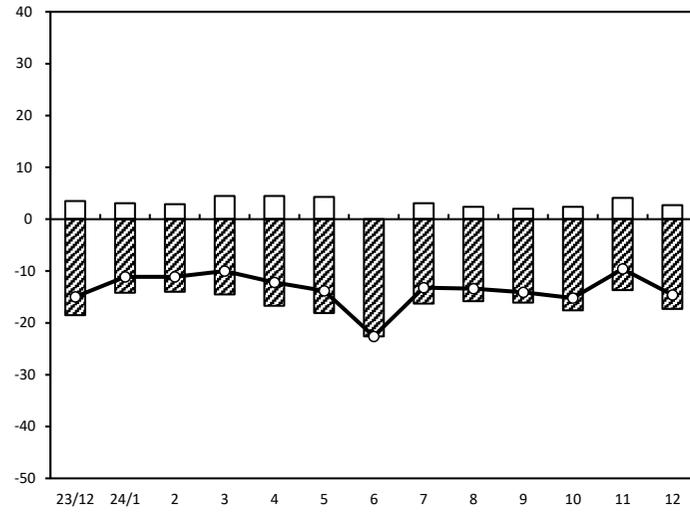
## 売上額



年/月	増加	減少	DI
23/12	35.1	-7.3	27.8
24/1	27.1	-6.3	20.8
2	23.8	-8.9	14.9
3	25.0	-7.0	18.0
4	22.8	-7.6	15.2
5	22.4	-11.8	10.6
6	19.7	-10.8	8.9
7	18.8	-9.9	8.9
8	17.3	-10.1	7.2
9	19.3	-9.8	9.5
10	18.7	-7.8	10.9
11	22.2	-5.0	17.2
12	25.2	-7.6	17.6

(年月)

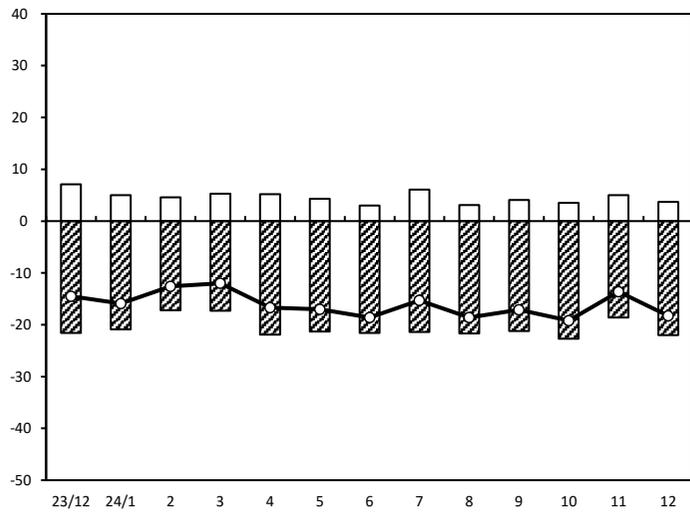
## 資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/12	3.5	-18.5	-15.0
24/1	3.1	-14.2	-11.1
2	2.9	-14.0	-11.1
3	4.5	-14.5	-10.0
4	4.5	-16.7	-12.2
5	4.3	-18.1	-13.8
6	0.0	-22.6	-22.6
7	3.1	-16.3	-13.2
8	2.4	-15.8	-13.4
9	2.0	-16.1	-14.1
10	2.4	-17.6	-15.2
11	4.1	-13.7	-9.6
12	2.7	-17.3	-14.6

(年月)

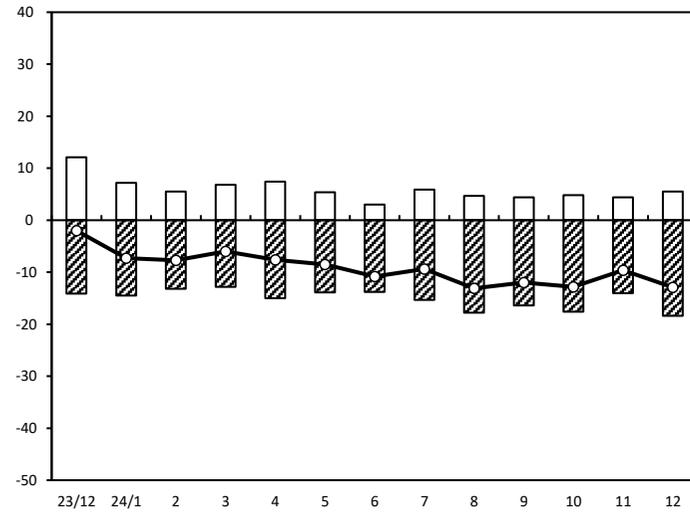
## 採算



年/月	増加	減少	DI
23/12	7.1	-21.6	-14.5
24/1	5.0	-20.9	-15.9
2	4.6	-17.2	-12.6
3	5.3	-17.3	-12.0
4	5.2	-21.9	-16.7
5	4.3	-21.3	-17.0
6	3.0	-21.6	-18.6
7	6.1	-21.4	-15.3
8	3.1	-21.7	-18.6
9	4.1	-21.2	-17.1
10	3.5	-22.7	-19.2
11	5.0	-18.6	-13.6
12	3.7	-22.0	-18.3

(年月)

## 業界の業況

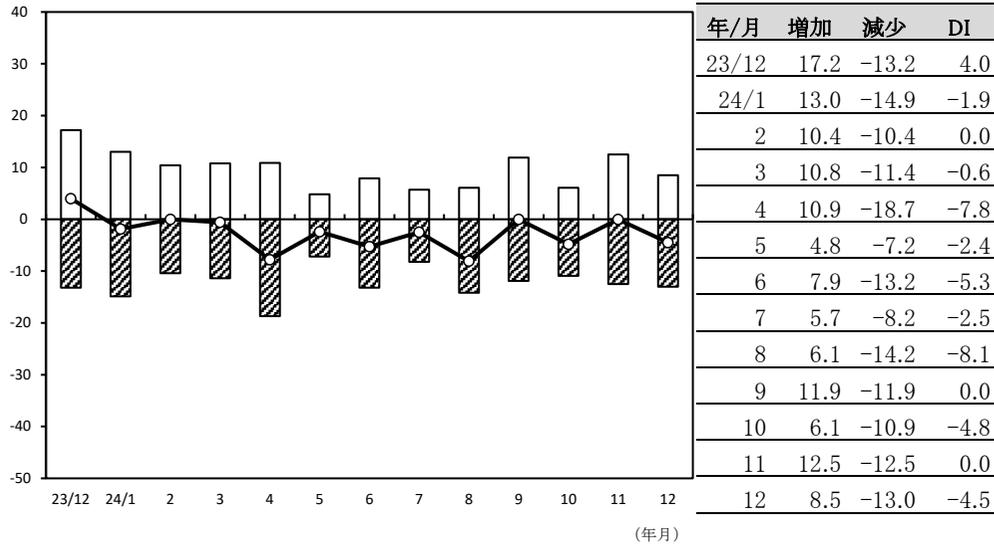


年/月	増加	減少	DI
23/12	12.1	-14.1	-2.0
24/1	7.2	-14.5	-7.3
2	5.5	-13.2	-7.7
3	6.8	-12.8	-6.0
4	7.4	-15.0	-7.6
5	5.4	-13.9	-8.5
6	3.0	-13.8	-10.8
7	5.9	-15.3	-9.4
8	4.7	-17.8	-13.1
9	4.4	-16.4	-12.0
10	4.8	-17.6	-12.8
11	4.4	-14.0	-9.6
12	5.5	-18.4	-12.9

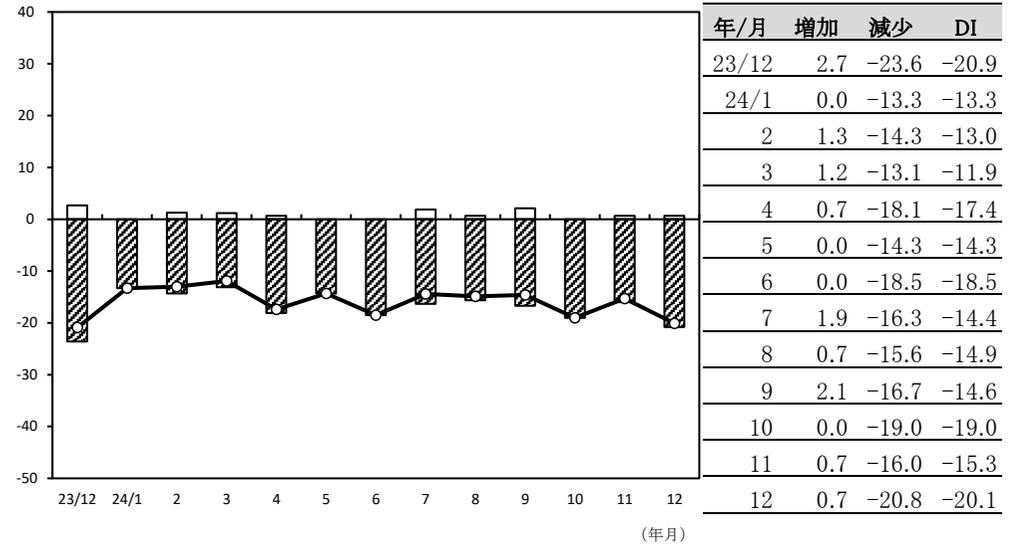
(年月)

## 製造業【繊維】（前年同月比）

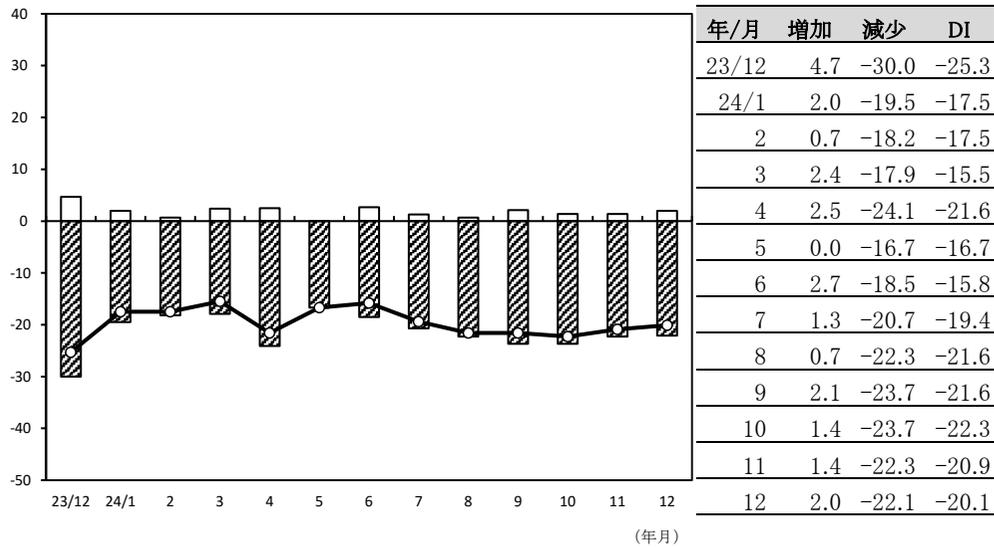
### 売上額



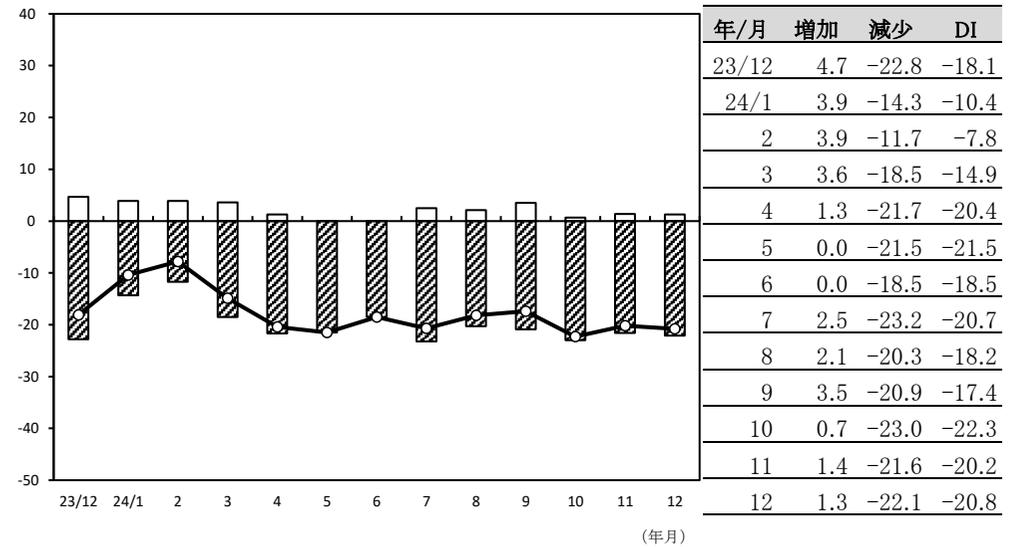
### 資金繰り



### 採算

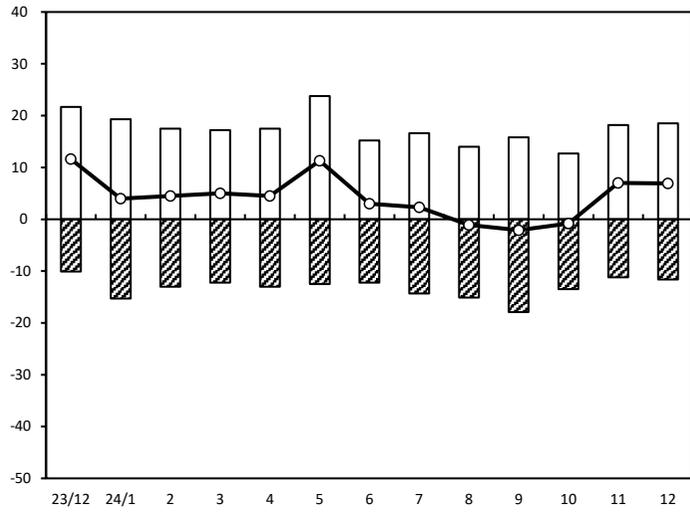


### 業界の業況



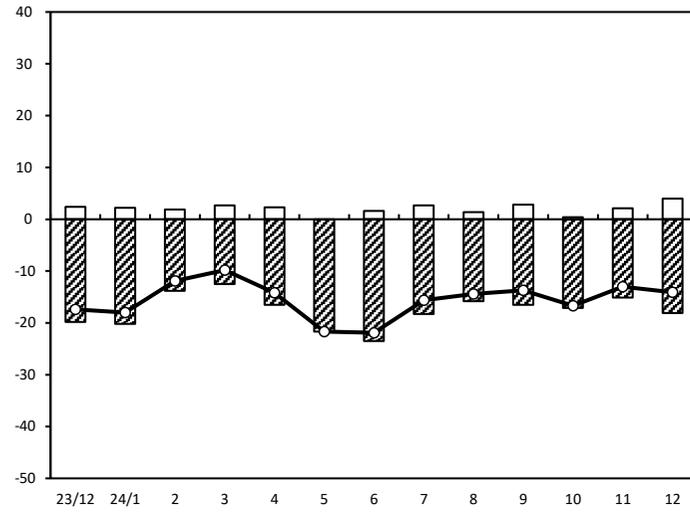
## 製造業【機械・金属】（前年同月比）

### 売上額



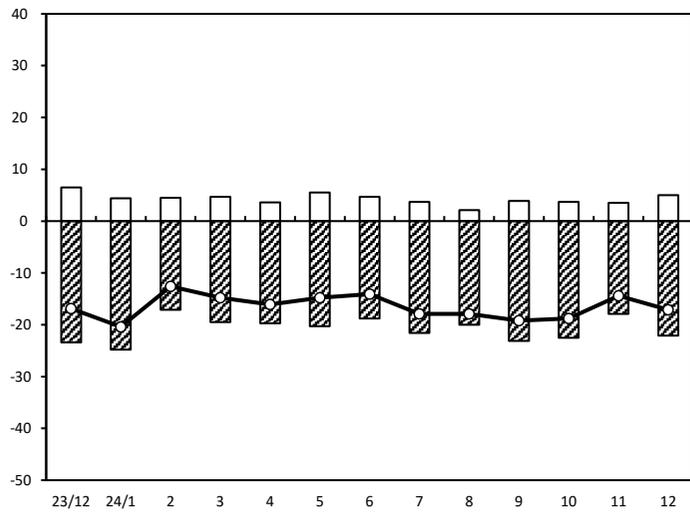
(年月)

### 資金繰り



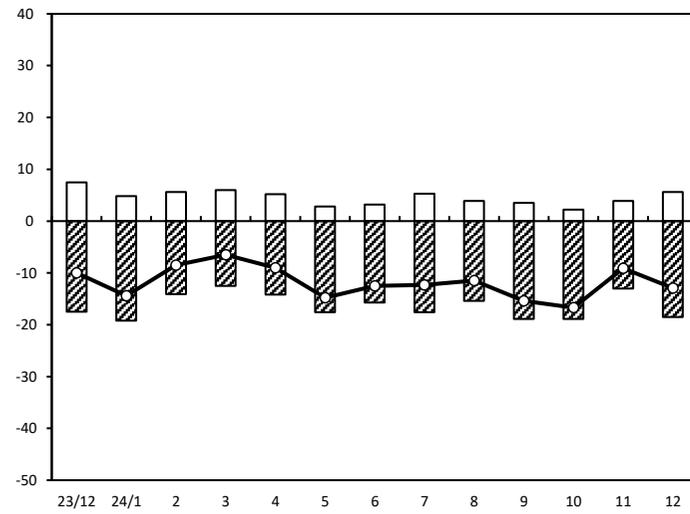
(年月)

### 採算



(年月)

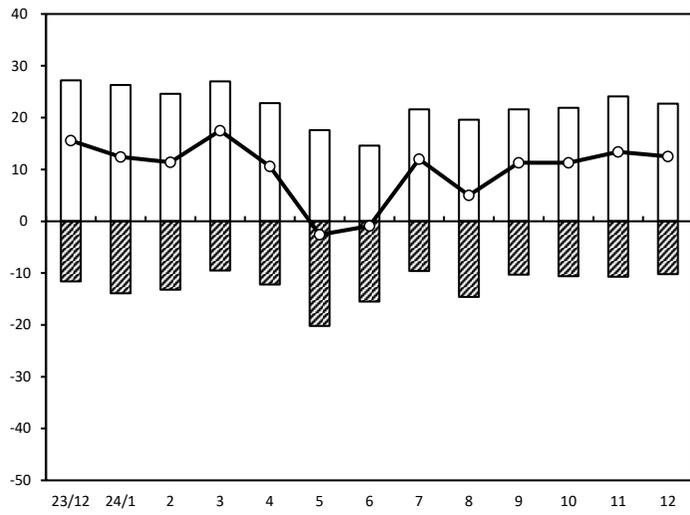
### 業界の業況



(年月)

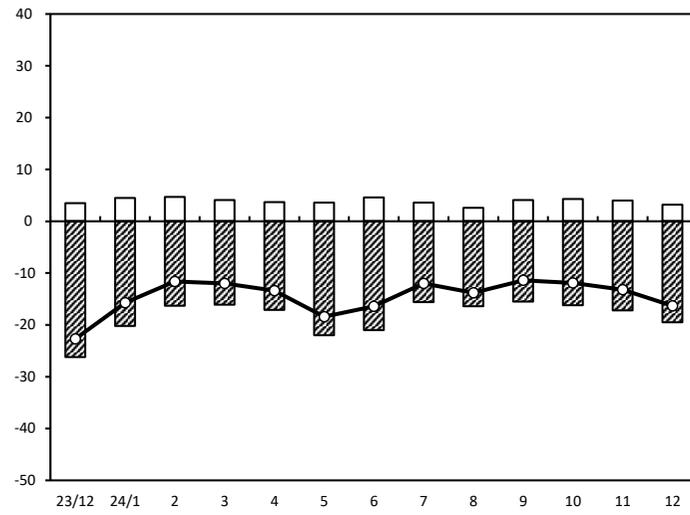
## 建設業(前年同月比)

### 売上額



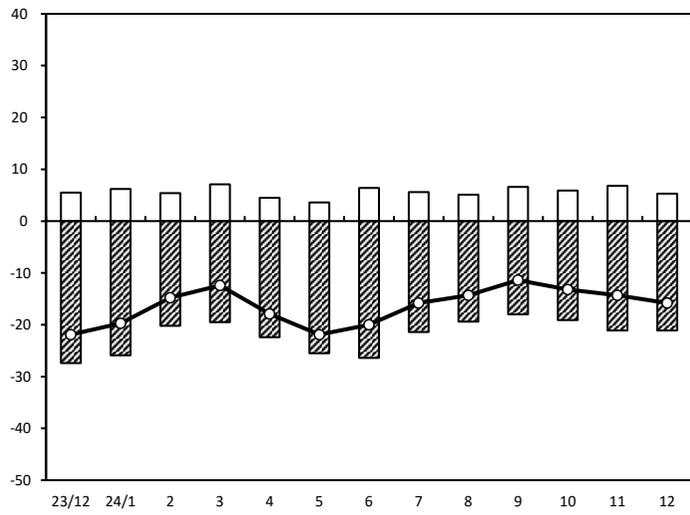
(年月)

### 資金繰り



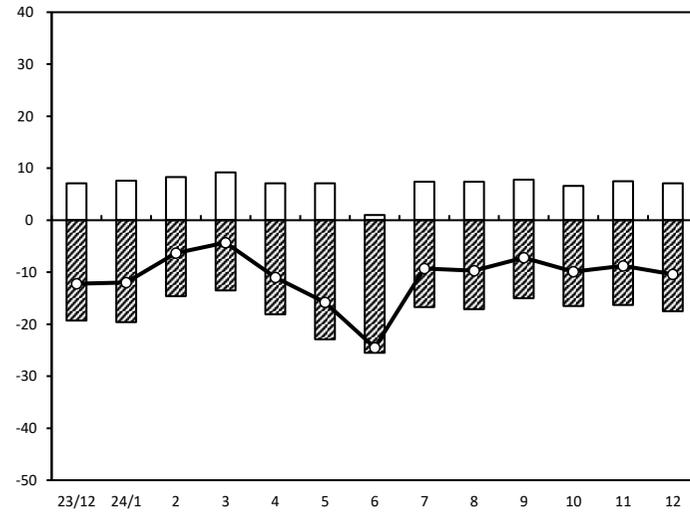
(年月)

### 採算



(年月)

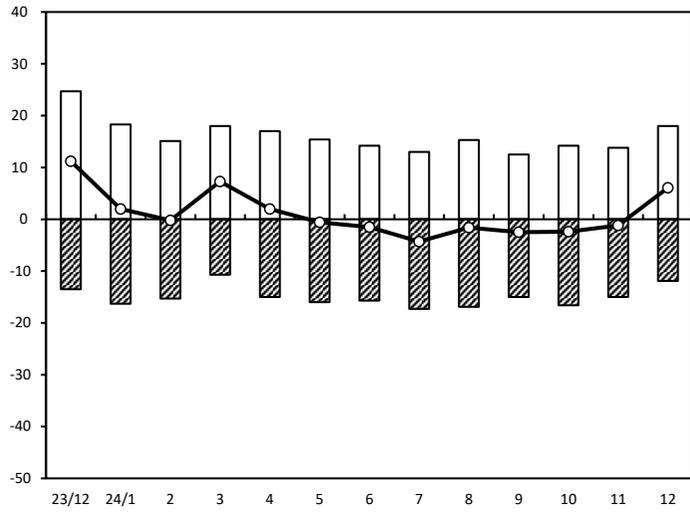
### 業界の業況



(年月)

## 小 売 業(前年同月比)

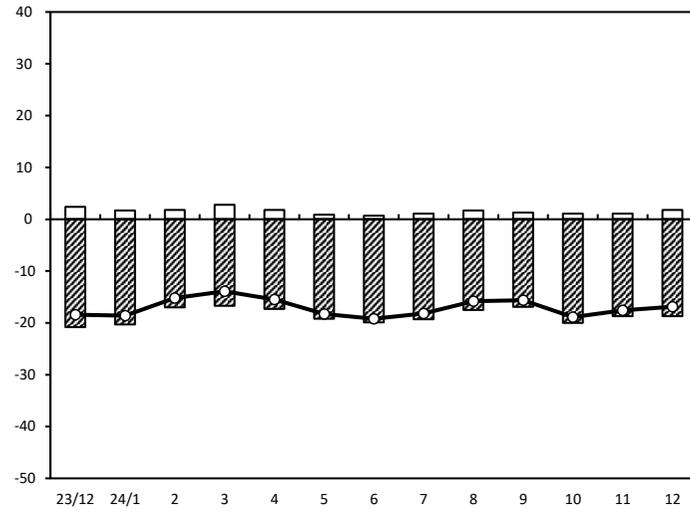
### 売上額



年/月	増加	減少	DI
23/12	24.7	-13.5	11.2
24/1	18.3	-16.3	2.0
2	15.1	-15.3	-0.2
3	18.0	-10.7	7.3
4	17.0	-15.0	2.0
5	15.4	-16.0	-0.6
6	14.2	-15.7	-1.5
7	13.0	-17.3	-4.3
8	15.3	-16.9	-1.6
9	12.5	-15.0	-2.5
10	14.2	-16.6	-2.4
11	13.8	-15.0	-1.2
12	18.0	-11.9	6.1

(年月)

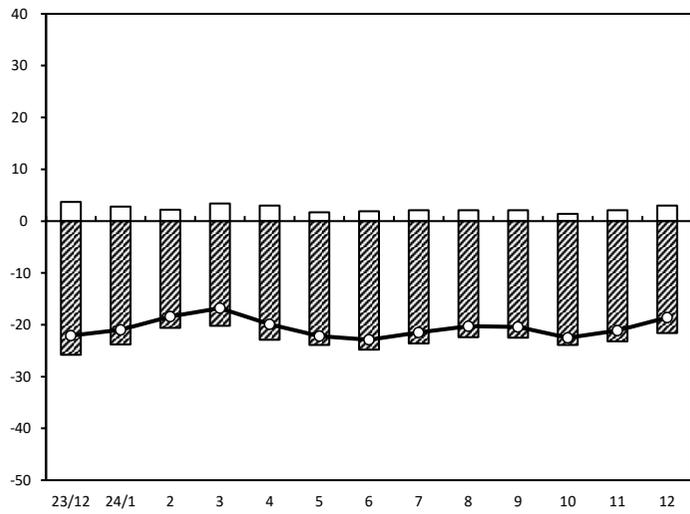
### 資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/12	2.4	-20.8	-18.4
24/1	1.7	-20.3	-18.6
2	1.8	-17.0	-15.2
3	2.8	-16.7	-13.9
4	1.8	-17.3	-15.5
5	0.9	-19.2	-18.3
6	0.7	-19.9	-19.2
7	1.1	-19.3	-18.2
8	1.7	-17.5	-15.8
9	1.3	-16.9	-15.6
10	1.1	-20.0	-18.9
11	1.1	-18.7	-17.6
12	1.8	-18.7	-16.9

(年月)

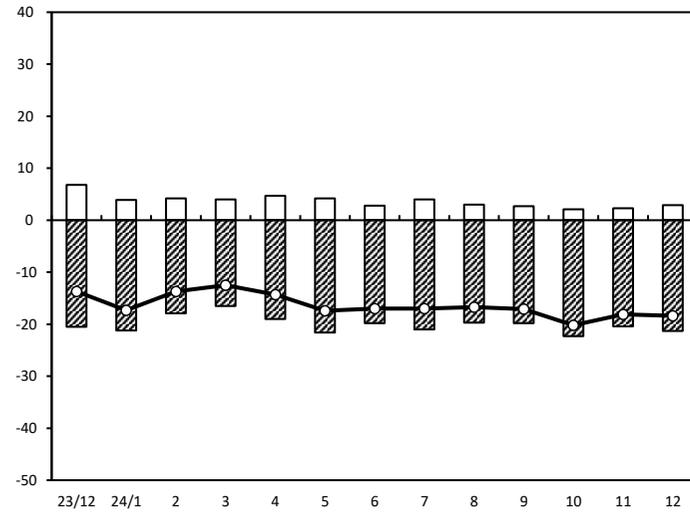
### 採算



年/月	増加	減少	DI
23/12	3.7	-25.8	-22.1
24/1	2.8	-23.8	-21.0
2	2.2	-20.6	-18.4
3	3.4	-20.2	-16.8
4	3.0	-22.9	-19.9
5	1.7	-23.9	-22.2
6	1.9	-24.8	-22.9
7	2.1	-23.6	-21.5
8	2.1	-22.4	-20.3
9	2.1	-22.5	-20.4
10	1.4	-23.9	-22.5
11	2.1	-23.2	-21.1
12	3.0	-21.6	-18.6

(年月)

### 業界の業況

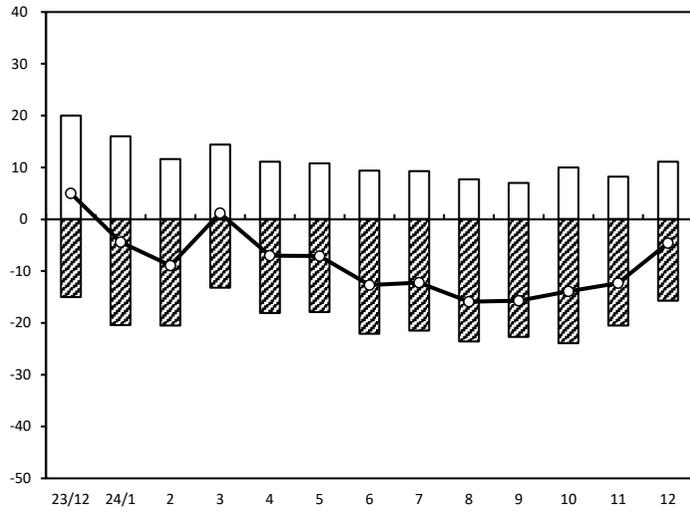


年/月	増加	減少	DI
23/12	6.8	-20.5	-13.7
24/1	3.9	-21.2	-17.3
2	4.2	-17.9	-13.7
3	4.0	-16.5	-12.5
4	4.7	-19.0	-14.3
5	4.2	-21.6	-17.4
6	2.8	-19.8	-17.0
7	4.0	-21.0	-17.0
8	3.0	-19.7	-16.7
9	2.7	-19.8	-17.1
10	2.1	-22.3	-20.2
11	2.3	-20.4	-18.1
12	2.9	-21.3	-18.4

(年月)

## 小売業【衣料品】（前年同月比）

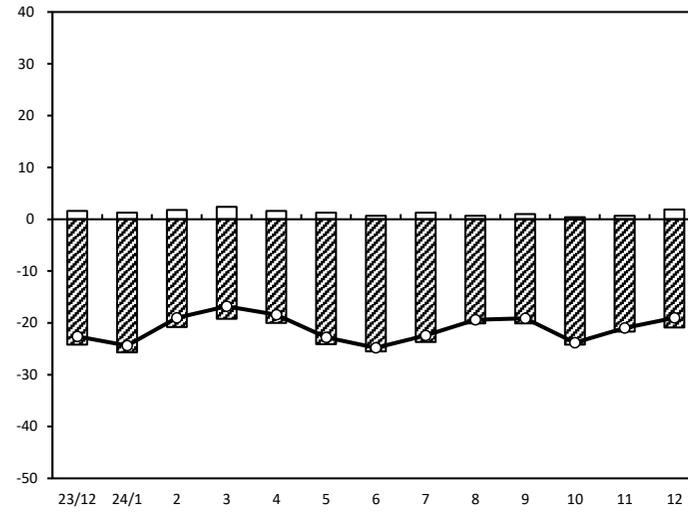
### 売上額



年/月	増加	減少	DI
23/12	20.0	-15.0	5.0
24/1	16.0	-20.4	-4.4
2	11.6	-20.5	-8.9
3	14.4	-13.2	1.2
4	11.1	-18.1	-7.0
5	10.8	-17.9	-7.1
6	9.4	-22.1	-12.7
7	9.3	-21.5	-12.2
8	7.7	-23.6	-15.9
9	7.0	-22.7	-15.7
10	10.0	-23.9	-13.9
11	8.2	-20.5	-12.3
12	11.1	-15.7	-4.6

(年月)

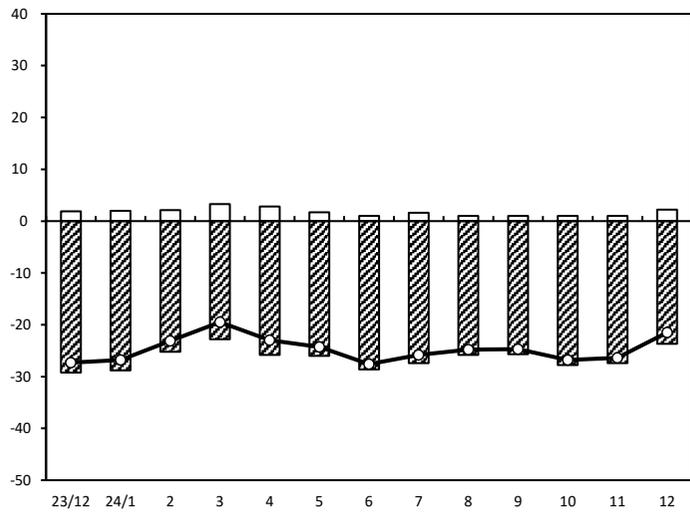
### 資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/12	1.6	-24.2	-22.6
24/1	1.3	-25.7	-24.4
2	1.8	-20.8	-19.0
3	2.4	-19.2	-16.8
4	1.6	-20.0	-18.4
5	1.3	-24.1	-22.8
6	0.7	-25.5	-24.8
7	1.3	-23.7	-22.4
8	0.7	-20.1	-19.4
9	1.0	-20.1	-19.1
10	0.4	-24.2	-23.8
11	0.7	-21.7	-21.0
12	1.9	-20.9	-19.0

(年月)

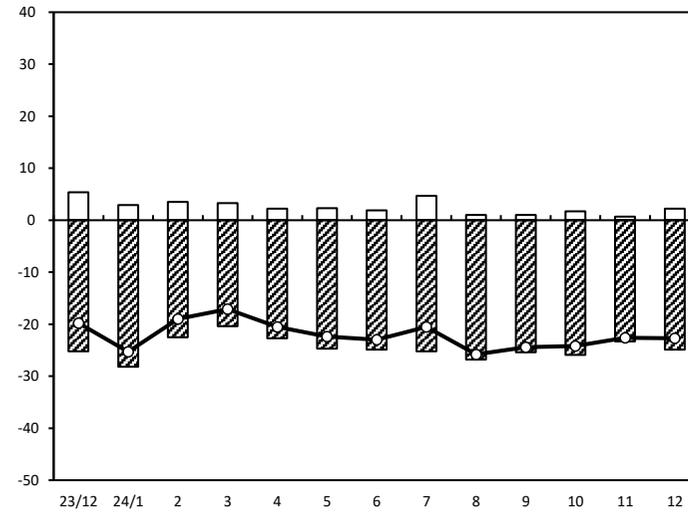
### 採算



年/月	増加	減少	DI
23/12	1.9	-29.2	-27.3
24/1	2.0	-28.8	-26.8
2	2.1	-25.2	-23.1
3	3.3	-22.8	-19.5
4	2.8	-25.8	-23.0
5	1.7	-26.0	-24.3
6	1.0	-28.6	-27.6
7	1.6	-27.4	-25.8
8	1.0	-25.8	-24.8
9	1.0	-25.7	-24.7
10	1.0	-27.8	-26.8
11	1.0	-27.4	-26.4
12	2.2	-23.7	-21.5

(年月)

### 業界の業況

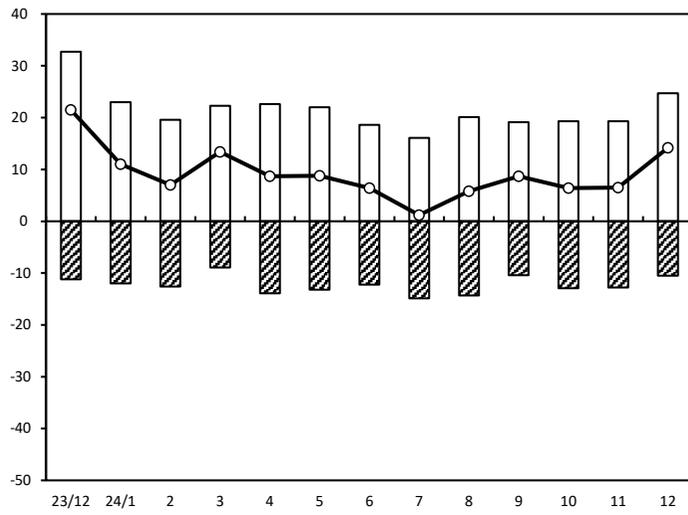


年/月	増加	減少	DI
23/12	5.4	-25.2	-19.8
24/1	2.9	-28.2	-25.3
2	3.5	-22.5	-19.0
3	3.3	-20.4	-17.1
4	2.2	-22.7	-20.5
5	2.3	-24.7	-22.4
6	1.9	-24.9	-23.0
7	4.7	-25.2	-20.5
8	1.0	-26.8	-25.8
9	1.0	-25.4	-24.4
10	1.7	-25.9	-24.2
11	0.7	-23.3	-22.6
12	2.2	-24.9	-22.7

(年月)

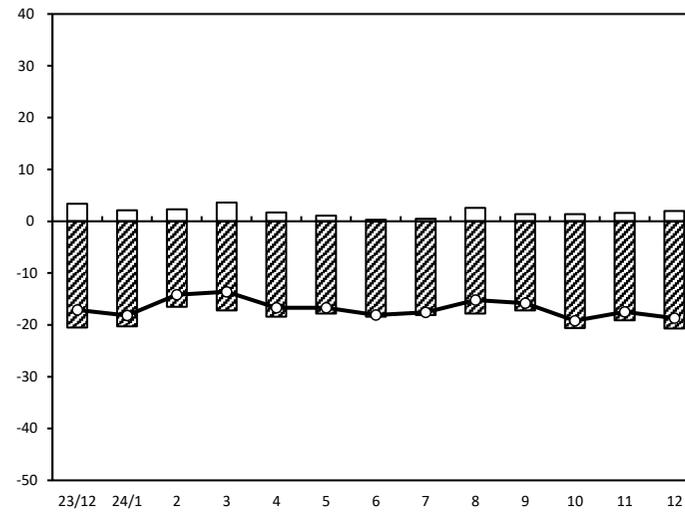
## 小売業【食料品】（前年同月比）

### 売上額



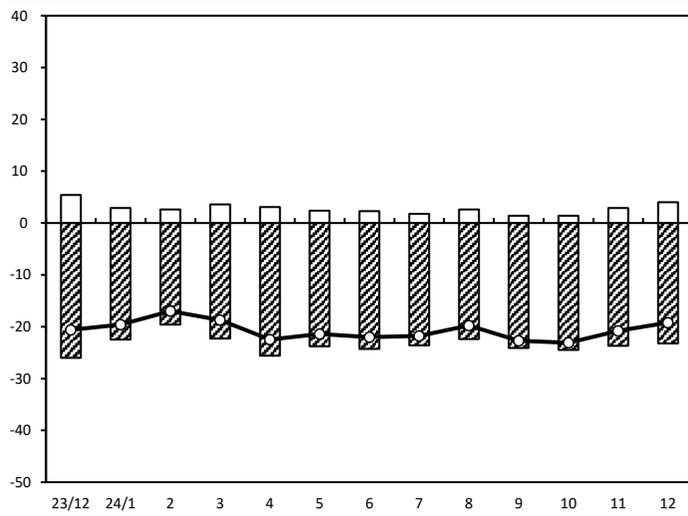
(年月)

### 資金繰り



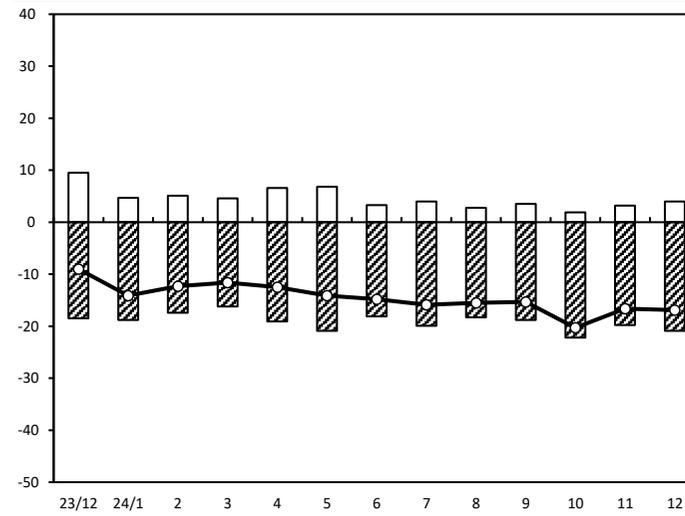
(年月)

### 採算



(年月)

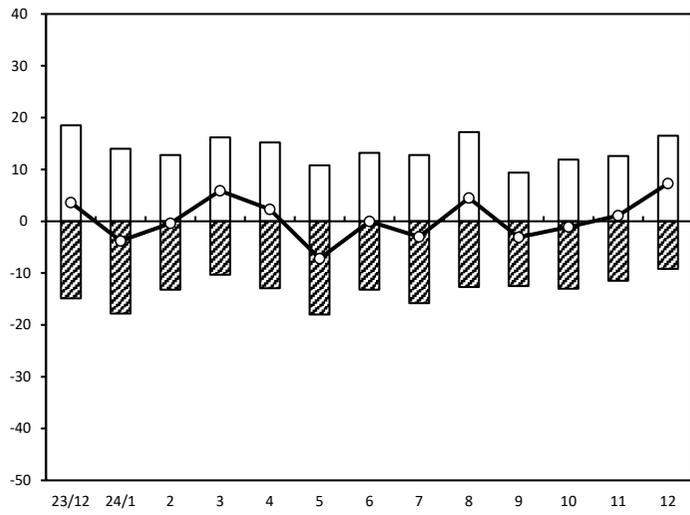
### 業界の業況



(年月)

## 小売業【耐久消費財】（前年同月比）

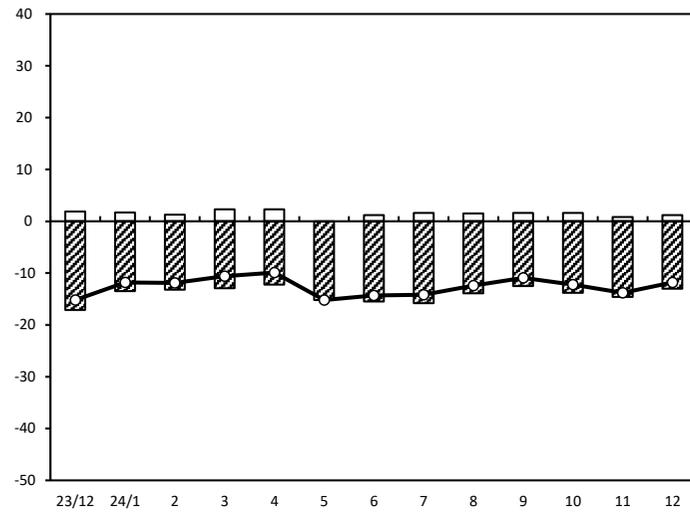
### 売上額



年/月	増加	減少	DI
23/12	18.5	-14.9	3.6
24/1	14.0	-17.8	-3.8
2	12.8	-13.2	-0.4
3	16.2	-10.3	5.9
4	15.2	-12.9	2.3
5	10.8	-18.0	-7.2
6	13.2	-13.2	0.0
7	12.8	-15.8	-3.0
8	17.2	-12.7	4.5
9	9.4	-12.5	-3.1
10	11.9	-13.0	-1.1
11	12.6	-11.5	1.1
12	16.5	-9.2	7.3

(年月)

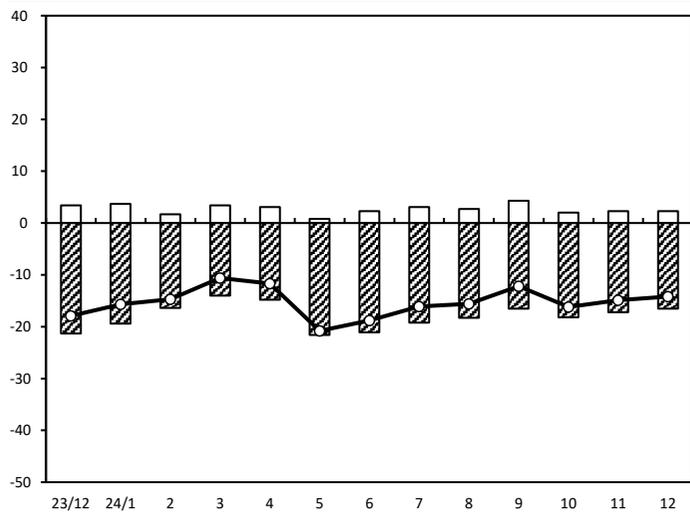
### 資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/12	1.9	-17.1	-15.2
24/1	1.7	-13.5	-11.8
2	1.3	-13.2	-11.9
3	2.3	-12.9	-10.6
4	2.3	-12.2	-9.9
5	0.0	-15.2	-15.2
6	1.2	-15.5	-14.3
7	1.6	-15.8	-14.2
8	1.5	-13.9	-12.4
9	1.6	-12.5	-10.9
10	1.6	-13.8	-12.2
11	0.8	-14.6	-13.8
12	1.2	-13.0	-11.8

(年月)

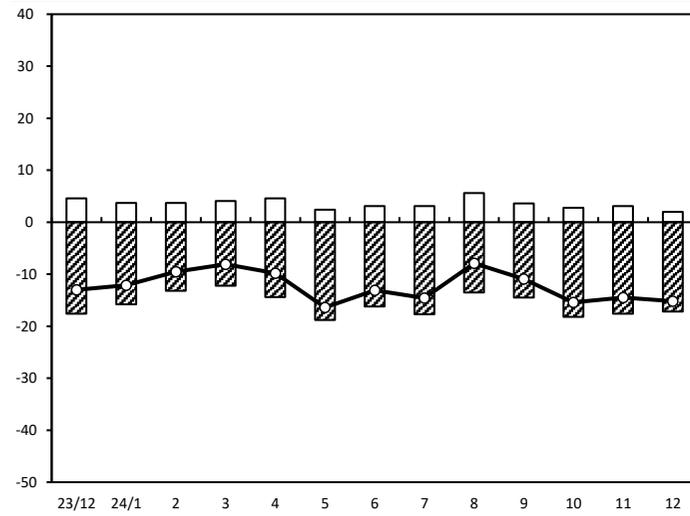
### 採算



年/月	増加	減少	DI
23/12	3.4	-21.3	-17.9
24/1	3.7	-19.4	-15.7
2	1.7	-16.4	-14.7
3	3.4	-14.0	-10.6
4	3.1	-14.8	-11.7
5	0.8	-21.6	-20.8
6	2.3	-21.1	-18.8
7	3.1	-19.2	-16.1
8	2.7	-18.3	-15.6
9	4.3	-16.5	-12.2
10	2.0	-18.2	-16.2
11	2.3	-17.2	-14.9
12	2.3	-16.5	-14.2

(年月)

### 業界の業況

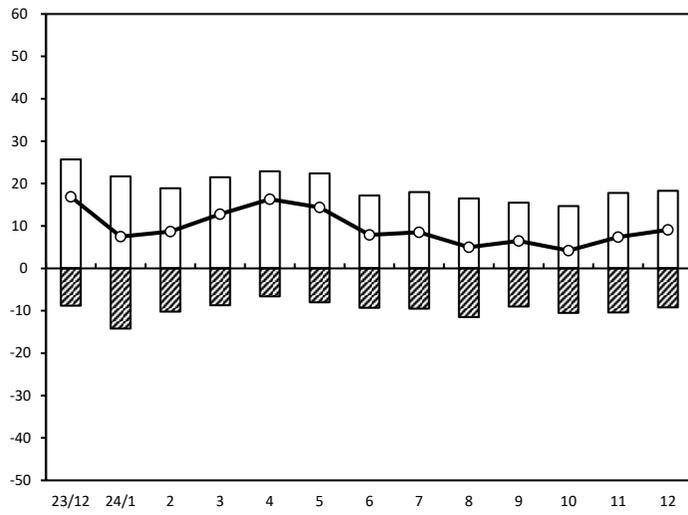


年/月	増加	減少	DI
23/12	4.6	-17.6	-13.0
24/1	3.7	-15.8	-12.1
2	3.7	-13.2	-9.5
3	4.1	-12.2	-8.1
4	4.6	-14.4	-9.8
5	2.4	-18.8	-16.4
6	3.1	-16.2	-13.1
7	3.1	-17.7	-14.6
8	5.6	-13.5	-7.9
9	3.6	-14.5	-10.9
10	2.8	-18.2	-15.4
11	3.1	-17.6	-14.5
12	2.0	-17.2	-15.2

(年月)

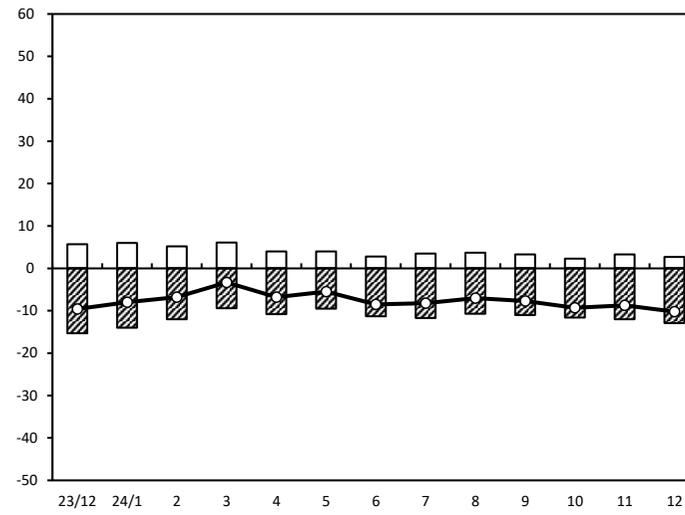
## サービス業(前年同月比)

### 売上額



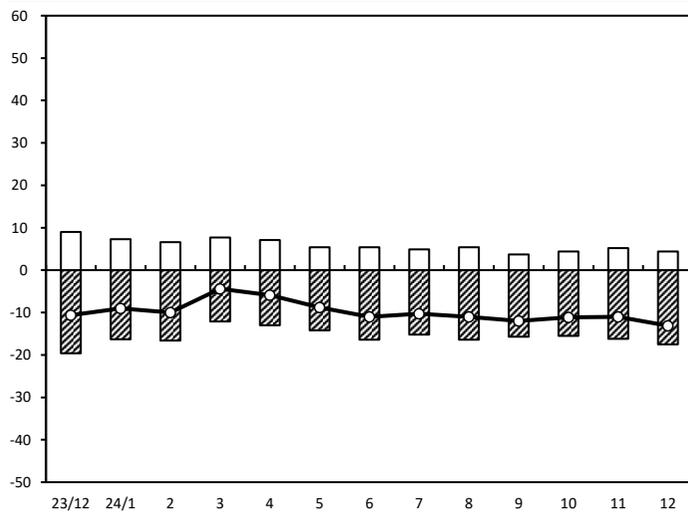
(年月)

### 資金繰り



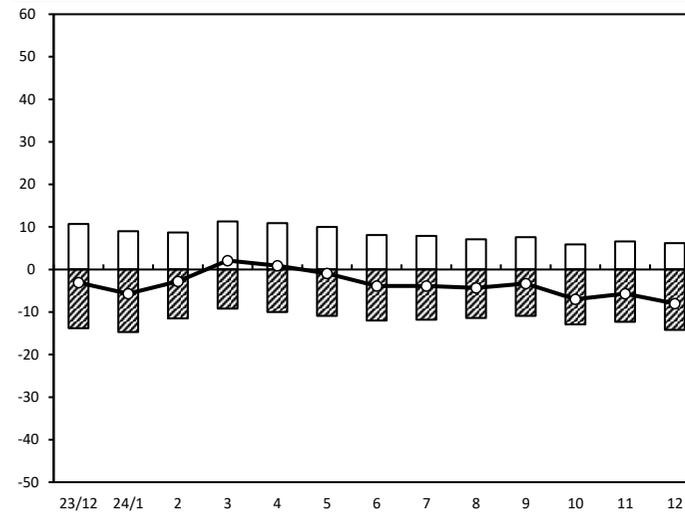
(年月)

### 採算



(年月)

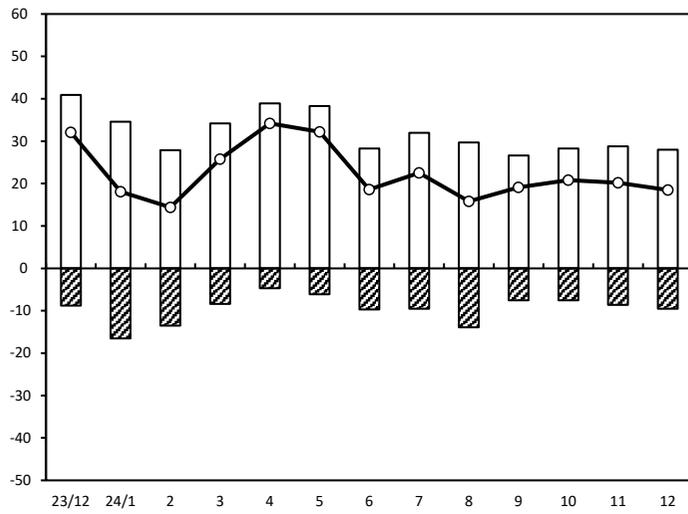
### 業界の業況



(年月)

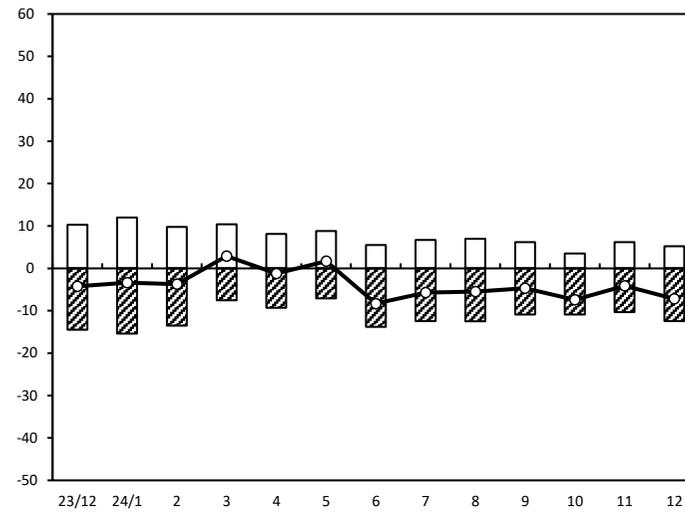
## サービス業【旅館】（前年同月比）

### 売上額



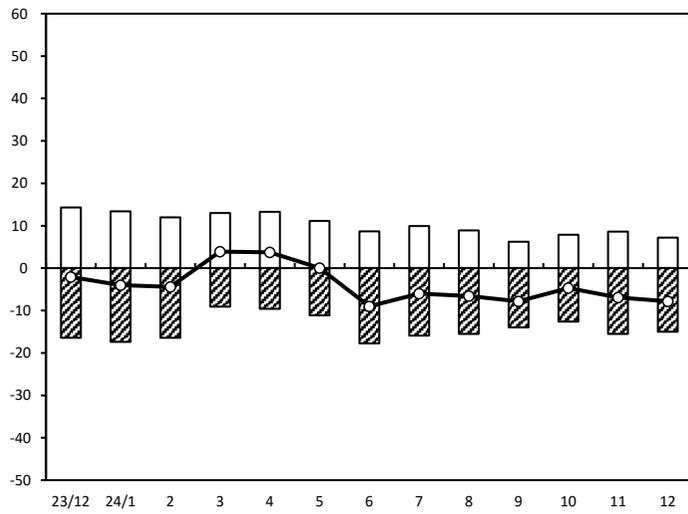
(年月)

### 資金繰り



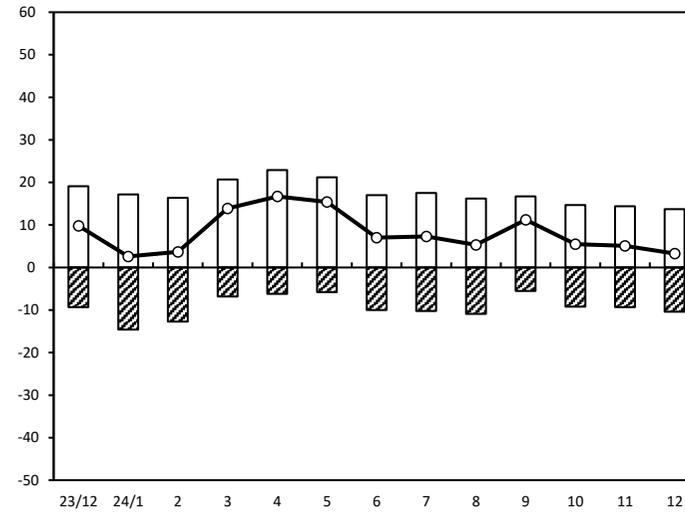
(年月)

### 採算



(年月)

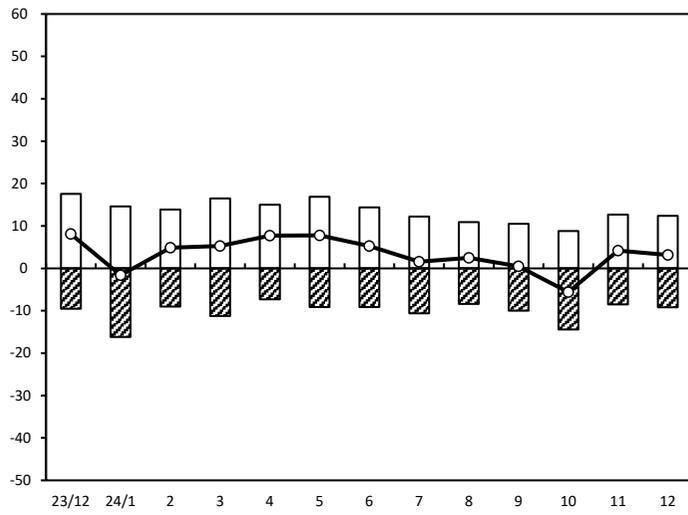
### 業界の業況



(年月)

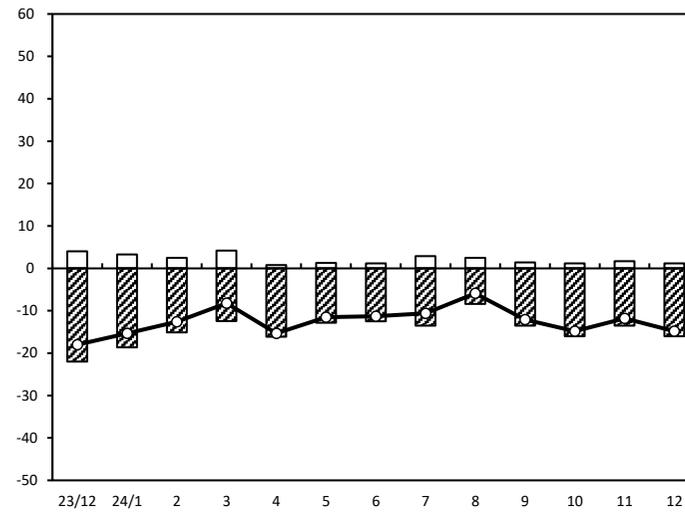
## サービス業【クリーニング】（前年同月比）

### 売上額



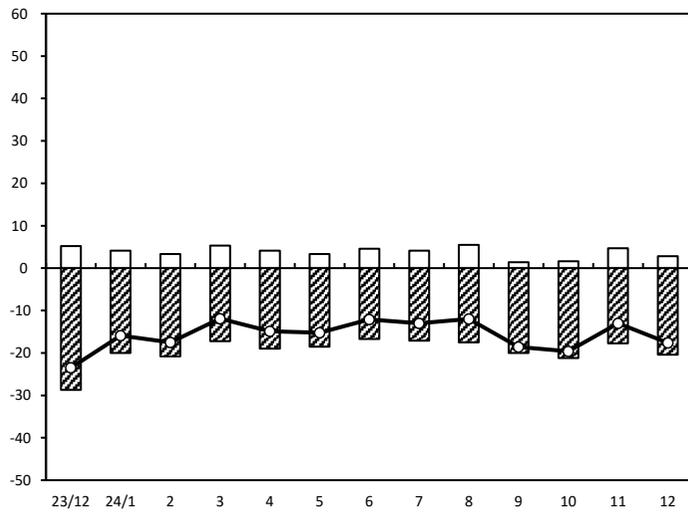
(年月)

### 資金繰り



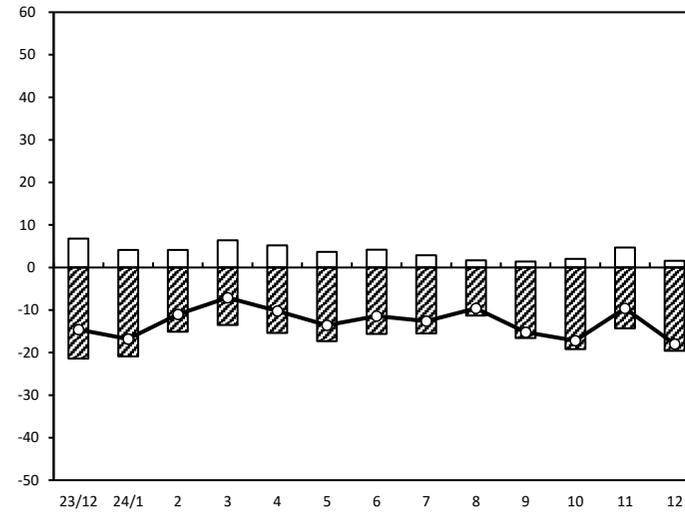
(年月)

### 採算



(年月)

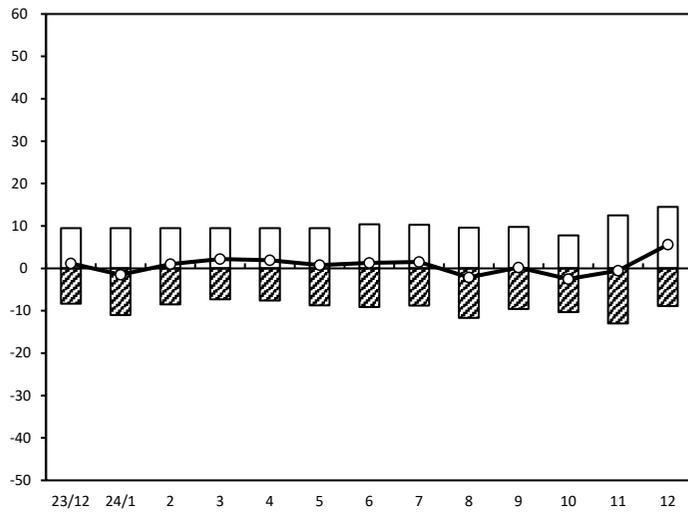
### 業界の業況



(年月)

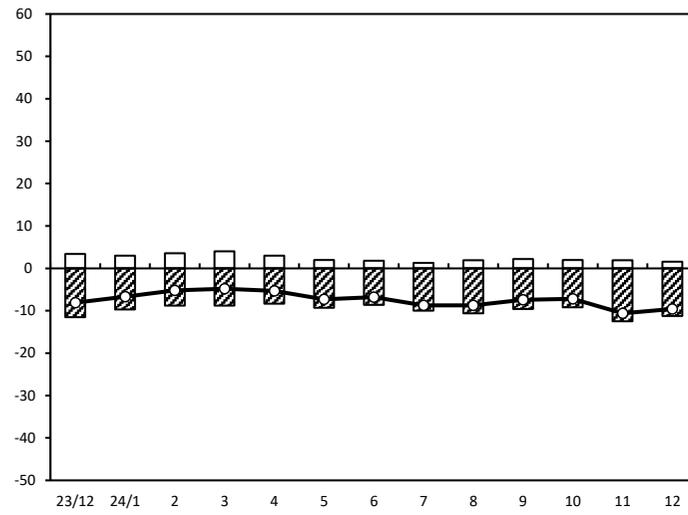
## サービス業【理・美容】（前年同月比）

### 売上額



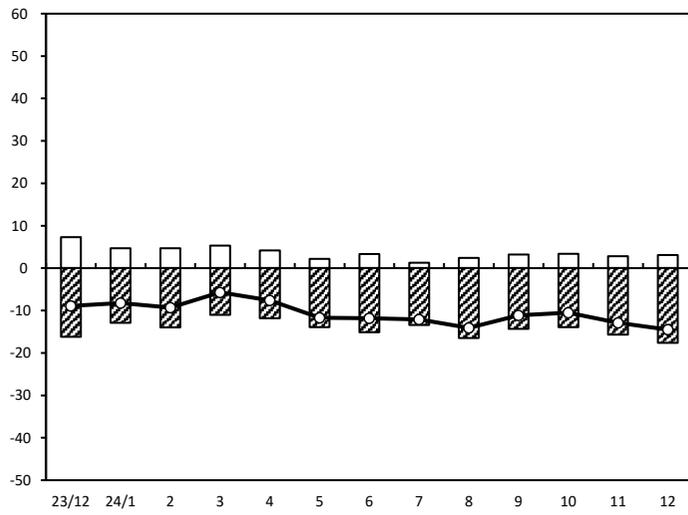
(年月)

### 資金繰り



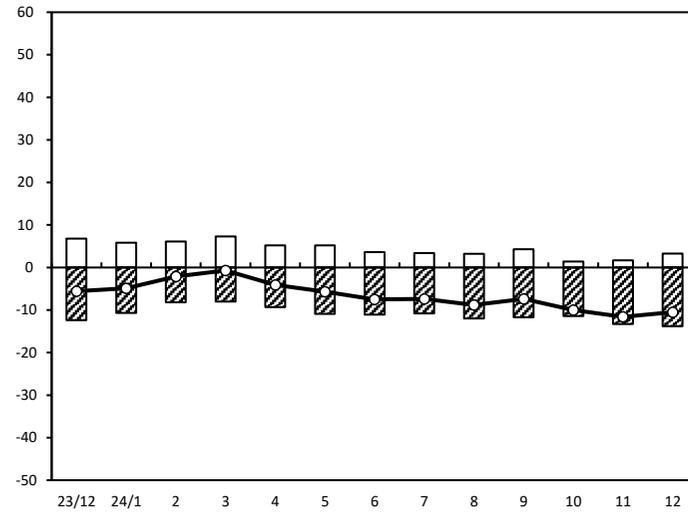
(年月)

### 採算



(年月)

### 業界の業況



(年月)

## 小規模企業景気動向調査(12月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

全般的には前年水準を維持又は増加傾向。但し、燃料費、ガソリン高による輸送コストを始めとした経費増の傾向が強い。コロナの影響からは脱却するも物価高、経費増に売上額が追いついていない感はある。また、一部慢性的な人手不足と人件費増は当該地域も変わらず。

(北海道小平町商工会)

景気全体に関しては緩やかに上昇しているように感じますが、依然として物価高騰や人件費等の増加により油断はできない状況です。当商工会では、利根町制70周年事業として商品券発行数とプレミアム率を増加させた効果により商品券の利用率が高く、予想外の好影響が出ています。量販店と比較して値段は多少高額であっても、遠出が困難な方や根強い常連客から利用されています。また、各店舗へ巡回し聞き取りをすると、顧客へ積極的に商品券の利用ができるとのアナウンスをしていたりとコミュニケーションをとり、商品券が使える店舗ならと新規利用者も増えているとの事です。商品券発行も多少の顧客獲得への効果が出ています。

(茨城県利根町商工会)

大きな金額の投資が増えてきている傾向にある。また、創業者もコロナ禍以降、副業や趣味の延長線上からの初期費用が発生しない開業が多かったが、今年度はスモールビジネス創業には変わらないが、住宅をリフォームしてのカフェやエステサロンなど融資を伴う開業が増え、創業への意気込みが変化しつつある。

(岐阜県笠松町商工会)

年末商戦や忘年会などのイベントで以前より活気がみられる。しかしながら、物価高騰や人件費増によって利益確保に苦慮している。

(鹿児島県伊佐市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

業種を問わず、仕入れ価格の上昇および燃料費高騰により利益率が悪化している。活用しやすい補助金を求める声が多い。

(宮城県栗原南部商工会)

年末のイベント需要や冬物商材の販売が好調で、小売・サービス業の一部で売上増加しているも、ガソリン補助金の段階的な縮小から、燃料価格が大きく上昇したことでコスト増加が発生し、地域経済に下押し圧力がかかっている。

(栃木県壬生町商工会)

年末になり人の出がやや多くなりつつある。ガソリンの値上げや物価高騰により消費額はやや抑えられている感がある。今年は、年末前に降雪があり、スキー場のオープンが順調でありスキーヤー等のレジャーによる消費拡大に期待したい。

(群馬県しづかわ商工会)

原油価格に端を発する各種価格高騰は、まさに全ての品目に対して当てはまると言っても過言ではなく、そのため影響を受けていない業種もほぼ無いと言っても差し支えない。

(千葉県南房総市内房商工会)

仕入れ単価や消耗品、光熱費、ガソリン代の上昇により負担増が今後も見込まれ、利益圧迫をしている。景気回復、収益率の改善には時間がかかるとされる。

(福井県おおい町商工会)

一般消費者向け事業者は、年末年始に向けた購買でおおよそ売り上げは増加傾向にある。一方で、全体的に仕入れ単価も上昇しており採算は不変である。年明けにはガソリン価格の大幅な変動が予想されているため、固定費の増加が不安である。

(岐阜県恵那市恵南商工会)

ガソリンがじわじわ値上がり続け、すべての業種で利益減の原因になっている。

(兵庫県姫路市商工会)

賃金は確実に上昇しているが、賃金の上昇を上回るペースで物価が上昇している。賃上げが実行されても社会保険料が高く、可処分所得が増加しないとの声を聞く。消費者の節約志向もあり今後の需要の変化が見えにくく、米国の経済動向を踏まえると、景気の動向は先行き不透明である。

(岡山県備前東商工会 吉永支所)

12月の景気全体を見ると、個人消費は引き続き抑制されている。特に、インフレの影響や国際情勢の不安定さが中長期的な経済運営に影響を与えている印象である。年末商戦が全体的な景気回復を後押しする期待はあったものの、それほどのものにはなっていないと感じる。引き続き、個人消費の回復に向けた政策等が必要であると考えます。

(山口県美祢市商工会)

町内事業所については厳しい状況が続いている様子であるが、急激に悪いというよりは徐々に悪くなっているという認識である。

(宮崎県高千穂町商工会)

## 2. 製造業

### <改善傾向を示すコメント>

食料品製造業に関しては、年末の売上が例年より増加し、コロナ禍前に戻ってきている。

(栃木県うつのみや市商工会)

機械や自動車の金属製品部品製造業では、製品ニーズの高度化・多様化に伴い、メーカー側も製造可能な業者を求めている。それには、既存の設備では対応できず、高性能な設備投資が必要となるが、省力化・自動化も可能となり生産効率も向上し、生産量の拡大や生産品質の向上と手不足の解消にも資するので、設備投資を推し進めている。

(愛知県飛島村商工会)

食料品製造業では、おせちの需要は前年比約10%増。価格帯は1万円台が8割。法事では、大人数で行う傾向となってきたが、お寺から予防のため家族のみの制限あり。繊維工業では、受注等の状況に関しては前年比改善してきているが、他社に押されている状況は変わらない。機械金属製造業では、受注は順調である。元請け先には請負金額の交渉をしているが、請負金額アップには繋がっていない。

(鳥取県大山町商工会)

食料品製造業は年末年始需要に向け、例年並み若しくは越える状況にて推移している模様。ふるさと納税関連の需要も堅調であるとのこと。

(鹿児島県かのや市商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

食品製造業及び機械金属製造業関連の事業者は、物価高騰の影響もあり製造に係る燃料コスト高のため採算に影響が見られる。

(北海道新ひだか町商工会)

単価の交渉を常に行っているが、単価を上げると売上が下がるため、収益面と売価を考えなければならず、難しい経営環境が続いている。

(福島県田村町商工会)

原材料価格の高騰や人件費の上昇により、収益が圧迫されている。円滑な価格転嫁が図れず、利益率の低下に直面している。また、食の安全性や品質管理への要求が高まり、HACCP対応などの衛生管理基準への対応が求められている。これに対する設備投資や体制整備のコストも、経営を圧迫する要因の一つとなっている。

(栃木県那珂川町商工会)

売上高の上昇は価格の上昇によるものであり、仕入額も上昇しているため利益は上がっておりません。今後も商品全体の価格が上昇していくため、消費者の購入動向が変化していくと考えています。それに対応する計画を立てていく必要性を感じています。

(神奈川県寒川町商工会)

インフレが酷く、仕入れや燃料費の高騰で経費が圧迫されている。取引先も利益確保の為、少しでも安く仕事をしてくれる先を探しており市場環境は厳しさを増している。

(岐阜県海津市商工会)

ガソリン価格の上昇他、コスト面における不安な状況は続いている。

(愛知県岡崎市ぬかた商工会)

菓子製造業では、クリスマスや年末年始のお土産等の利用により売上高は増加したが、カカオの価格高騰による価格転嫁が追い付かず利益を圧迫している。繊維工業では、大手繊維メーカーの影響で厳しい状況のところもある。機械金属製造業では、設備投資が可能なところは順調に売り上げを伸ばしているが、個人事業など小規模事業者については対応できず厳しい状況。

(兵庫県丹波市商工会)

原材料費等の値上がり、加工賃の頭打ちで苦慮されている。食品関係では好調となっているが、一部機械製造での停滞が見られる。いずれの事業所でも固定費の値上がりがあり、細かな価格調整が必要となっている。

(岡山県岡山北商工会)

製造業では、技術者や熟練工の確保がますます困難になっており、教育・研修や働き方改革が重要な施策となっています。特に、AIやロボット技術を使った自動化によって、現場での作業負担を減らし、労働環境の改善を進める企業もあります。より効率的で持続可能な生産体制を構築することが求められています。

(広島県黒瀬商工会)

食料品製造業については、天候不順による野菜の生育不良にて仕入価格が急騰している。

(宮崎県国富町商工会)

物価高騰に伴う実質賃金の減少により日配品製造については需要の増加は見られるものの、嗜好食品の製造については需要が減少しており、特にふるさと納税における受注が大きく減少している。

(鹿児島県志布志市商工会)

野菜や米などの主要食材費が上がっており採算が厳しくなっている。

(沖縄県八重瀬町商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

溶接関連を行う建設業は安定した受注が続き、売上高が増加傾向にある企業もある。

(宮城県東松島市商工会)

年末降雪があり、除雪の回数が昨年より多かったため、その分売上増加。燃料費が高騰しており、単価引き上げ以上に燃料費負担が増加しているため、収益性は以前よりダウン。

(山形県南陽市商工会)

造園・外構業関連事業者は、造園同業者の廃業が多くなり、需要に対する供給が減っている状況である。外構は新築を建てる人が減っているが、リフォームガーデンを希望する人が増えており需要が高まっている。

(茨城県八千代町商工会)

一般建築業の事業者は仕入単価が上がっているものの、災害関連の工事、リフォーム、店舗改装の受注を受けているため、全体的に業況は上向いている。しかし、受注にも波があるため、継続的な営業活動が求められる。

(新潟県巻商工会)

建設業関連事業者は、仕入れ単価・各種経費の高騰に対応するため価格転嫁を実施した。また、難航する新規雇用や技術を持つ職人の高齢化による退職に対応するため、補助金を活用して省力化できる設備投資を行った。

(佐賀県唐津上場商工会 経営支援センター)

#### <悪化傾向を示すコメント>

仕入単価は安定してきているが、一部材料(雨樋、クロス等)に値上げの動きがみられ、まだ安心はできない。業界の動きは全体的に冬季休業に入り、目立った動きは見られない。依頼があるリフォームの見積も、売上に繋がるものでは無いとの見込み。

(秋田県由利本荘市商工会 矢島支所)

大手のハウスメーカーに受注が流れ、町の工務店は厳しい状況である。一昨年と比べれば、昨年の12月は全体的には増加しているが、減少していたものが少し戻ったにすぎない。来年から再来年にかけて町の工務店の倒産や廃業が増加するのではないかと、同業者の中で話が出ている。

(埼玉県八潮市商工会)

新築・リフォーム需要の高まりにより、島内建築業全般の受注件数は増加傾向にある。一方、急な需要増に島内企業の一部業種(解体業)が対応しきれず、結果として全体工期の遅延、それに伴う資金繰り悪化に結びつく場面が散見される。

(新潟県両津商工会)

土木工事関連の事業所について、原材料や燃料等の高騰が続き利益確保が難しい中で、人材の流出を防ぐために賃上げせざるを得ず、厳しい経営環境にさらされている例がある。

(福井県福井東商工会)

建設資材、ガソリン燃料費等が高騰しており、必要な人材が不足している。

(静岡県掛川みなみ商工会 大須賀)

建設業では、12月中旬からのガソリン補助金縮小により、建設機械や工事車両の燃料コストが高騰している。既存の工事契約案件においては価格転嫁が難しく、事業者の利益を圧迫している状況が続いている。

(島根県石中央商工会)

カーポートなどのエクステリア用品の仕入単価が、R7年2月より15~25%くらい高くなるとメーカーより発表があり、駆け込み相談が増えている。生コン価格の上昇など材料高の影響により住宅価格も高くなっており、マイホームの購入を諦める顧客も増えている。

(岡山県瀬戸内市商工会)

公共事業の減少により売上げが減少している。人件費の増加も採算を悪化させる原因となっている。

(徳島県阿波市商工会)

資材、運送費、人件費の高騰による経費増大の打撃を受けている。それに加え、人手不足も大きな経営の悩みである。新規設備導入を行い生産性向上や受注件数の増大を図る動きもある。設備導入に関して活用できる補助金がしばらく公募されていないので、求める声も多い。

(長崎県諫早市商工会)

建設業関連の事業者は公共工事の受注が減り、売上が減少傾向である。燃料費高騰もあり、採算が悪化している。

(熊本県阿蘇市商工会)

受注件数も増加している一方で、物価高騰による仕入れ単価の上昇や、人手不足による人員確保や最低賃金引上げによる賃金の負担増による影響が大きく、やや悪化状況にある。一部資材で納期の長期化もあり、工期も長くなることもある。

(鹿児島県知名町商工会)

建設業は仕入単価の上昇により、値上げして対応はしているが、人件費なども上昇しているため、資金繰りに苦しんでいて融資相談も増えている状況になっている。

(沖縄県うるま市商工会 石川支所)

## 4. 小売業

### <改善傾向を示すコメント>

年末年始の大型連休の影響もあり、売上が好調だった事業所が見受けられた。

(秋田県よこて市商工会)

仕入単価が上昇しているがその分販売価格に転嫁している為、採算はとれている。価格を転嫁しても売れるものと売れないものを見極めが必要である。

(埼玉県東松山市商工会)

昨年と比べ、年末の帰省客が多く、食品小売業の特にオードブルなどの売上が良く、昨年より売上が増加傾向である。

(新潟県朝日商工会)

小売業全体的に、値上げ慣れした一般消費者からの購入量が、値上げを始めた昨年度より増加している。そのため仕入れ値に見合った売値での販売が可能となり採算が好転している。

(三重県伊勢小俣町商工会)

衣料品小売業関連の事業者は、11月の売上に比べて横ばい傾向である。イベントの移動販売で飲食販売を行い、売り上げの増加に繋がった。仕入れ等の支払い価格は高止まりしている状態である。食料品小売業関連の事業者は、12月は高単価の仕出し需要が高く、売上は対前月比で大きく増加した。食料品小売業も、年末商戦で好調のところが多く見られた。耐久消費財関連の事業者は、車両販売が増加、車検、整備は変わらず。資金繰りは厳しい状況が続いている。

(岡山県みまさか商工会 勝央支所)

### <悪化傾向を示すコメント>

食料品店を中心に年末帰省に向けたセールは実施されているが、野菜などの価格が高騰し、消費者の購入物品の選定がシビアになっていて産直での購入者が増加している。

(秋田県北秋田市商工会)

衣料品小売業:年末商戦の影響や冬物需要もあり、売上は微増傾向も仕入価格上昇の影響もあり、景気判断は必ずしも好転していない。食料品小売業:一部の生鮮食品を中心とした仕入価格が顕著に高騰しており、消費者の買い控えも景気判断のリスクとなっている。耐久消費財:価格上昇のあおりを受け、特に生活必需品以外の耐久消費財の需要は鈍化している。

(東京都昭島市商工会)

食料品小売業において、商店街は空き店舗に加え、公費解体が進むにつれ空き地が目立ち始めて空洞化する様子が見て取れる。一方、ロードサイドに立地する大型店では惣菜や生鮮品の充実した店舗が多く工事業者で賑わっている。

(石川県門前町商工会)

小売業全体に言えることだが、輸送コストの増加を価格転嫁に中々繋げられず利益の圧迫を招いている。人手不足による経営への影響も顕著に表れている。

(長野県小布施町商工会)

物価高騰により経費が増大したため、今月から再度値上げに踏み切った。店舗来店客も減少しているためネット販売を強化することを検討。お得意さまの購入がある為、安定した売り上げをしている。暖冬の影響で冬物衣料の販売が伸び悩む一方、維持費全般が高騰し、採算は悪化している。資金繰りに影響するまでではないが、水光熱費の高騰による採算性の悪化がみられる。猛暑により夏に注文されたエアコン設置が間に合わず、12月に入ってからの設置も残っていた。

(静岡県天竜商工会)

食品小売業者からは、地域の少子高齢化により客数が減少するとともに、物価高騰の影響で購入点数も減少している状況にある。また、ガソリン価格が高騰しているものの、仕入や配達で消費する燃料代を価格に反映できていない状況でもあり、資金繰りが厳しくなっている。

(京都府福知山市商工会)

衣料品小売業は、諸物価値上げのため、消費者が節約志向を一段と強めている。消費動向は悪化している。食料品小売業は、昨年の商店街商品券がないため減少。また、物価高騰や人口減少による需要の衰退が激しい。耐久消費財は、売上は前年対比で増加したが、業況は横ばい。

(兵庫県新温泉町商工会)

衣料品小売業は、消費全体としては弱い動きが続いている。暖冬の影響で売上が大きく低迷している。食料品小売業は、お正月準備もあわさり、売れ行きは好調であるが、仕入れ値も高騰しており、利益状況は横ばいである。耐久消費財小売業は、ボーナス商戦もあり若干売上は上がったものの、買い渋りは続いている。

(鳥取県北栄町商工会)

地域の小規模な食料品小売業が置かれている状況は年々厳しさを増しており、人口減少の影響から、売上は減少傾向が続いている。また、最低賃金上昇による人件費高騰の影響も年々大きくなっている。

(岡山県阿哲商工会)

地元客がメインのため、仕入単価の現状に価格転嫁が追い付いていない。100%価格転嫁をしてしまうと地元客が離れてしまう。

(熊本県熊本市河内商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

年末にかけて、帰省客や旅行客が徐々に増加し、宿泊や飲食店、また温泉も多く点在しているため多く利用されている。降雪量は前年同月と比較し一定して降り続き、スキーに訪れる方も多い。貸スキー店も周辺小・中学校よりシーズン契約が早々に結ばれるなど順調であるとのこと。

(秋田県仙北市商工会 田沢湖支所)

プレミアム商品券の効果もあり、客単価は上昇している。SNSでの広報に力を入れて新規顧客の獲得を行っている。

(富山県高岡市商工会 福岡)

越前ガニは依然として仕入値が高い状況が続いているが、価格上昇について顧客が納得して消費しており、好調な店舗が存在する。

(福井県南越前町商工会)

理美容業は、若年層から中年層の人口増加をうまく捉えている事業者で安定した売り上げを確保している。価格転嫁も進み、業界としては明るい。

(京都府木津川市商工会)

年末年始の長期連休に向けて、状況はやや上向き傾向。ただし、人手不足による機会損失が心配されている状況である。

(沖縄県本部町商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

依然として灯油、電気等価格の高止まりが続いており、経費負担増で景況感は良くない。

(宮城県丸森町商工会)

洗濯・理美容業においては年末年始における需要も期待以上に少なく、原材料価格の高騰も継続しており、先行きの不安が募っている。

(東京都清瀬商工会)

当地域は冬の観光客の多くがスキー客で、年々オーストラリアを中心としたインバウンド客が増加している。降雪によりスキー場のオープンが昨年より少し早かったため、宿泊業のインバウンド客の入込も昨年より少し早まったが、日本人客の出足は鈍い。スキー客の高齢化や、リフト料金の値上げ等により日本人宿泊客が減少する一方、インバウンド客は年末から2月にかけての予約が好調で、インバウンド客受入の有無により好不調が二極化している。理美容業は、地元住民向け小売業と同じ傾向だが、いずれも家族経営の零細事業者ばかりであり、客層は高齢者が中心であるため、高齢化による客数減少の影響が大きい。

(新潟県妙高市商工会)

洗濯関連の事業者は、物価高騰に伴い特殊なもの(礼服など)以外は家庭で洗濯する人が多くなったと感じる。家庭用洗濯機の性能や洗剤などが多様に対応できるようになった影響と思われる。

(山梨県韭崎市商工会)

クリーニング業では、大手クリーニング業者から大口で委託を受けている事業者で売上増加しているところもあるが、個人のクリーニング店では価格競争もあり厳しい状況である。宿泊業では、インバウンド客を上手く取り込めている施設では売上増加している。また、地熱発電工事に伴う作業員の宿泊対応をしている宿泊施設では5月まで満室となっているが、OTAへの在庫出しをしていない状況が続くと検索順位に影響があるため不安視している。

(岐阜県高山北商工会)

宿泊業においては出張や催事に加え、インバウンド流入が顕著。悪天候による影響もなく宿泊客は増加傾向にある。原材料や燃料などの高止まりは続いているが、価格転嫁は概ねできている。ただ、人材確保に苦慮している先も多い。洗濯業においてはガソリン代のほか、ハンガーや溶剤、袋など石油製品の相次ぐ高騰が続く、十分な価格転嫁も難しく厳しい状況。家計の節約志向も強まり、安価なコインランドリーへ需要が分散している印象。理美容においては価格転嫁ができていない店舗はあるが、髪をキレイにして年越しされたい顧客で週末込み合う店舗も多い。自分へのご褒美にヘッドスパ等をされる方も多く平常時より顧客単価はUPしている。

(鳥取県鳥取市西商工会)

洗濯業では、物価高騰の影響を価格転嫁できて売上増加している事業者もいるが、石油系のクリーニング溶剤等価格高騰が続いている。価格転嫁の対応が難しい理容業では、来店客の来店周期が長期化しており売上減少に繋がっている。

(福岡県みやま市商工会)

飲食業や旅館業を含むサービス業では、12月中盤までは日帰り観光客や忘年会などの宴会利用客の安定により、売上は比較的順調に推移していた。しかし、中旬以降はインフルエンザの感染拡大により、一部で予約キャンセルが発生するなど、厳しい経営環境に直面した。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

航空インフラの減便の影響と消費控えから、交流人口、特に観光需要が大幅に減少しており、宿泊事業者は売り上げが減少しているとの声を多く聞く。また、宿泊事業者においては、競合他社が大幅に増えていることにも起因する。

(鹿児島県あまみ商工会)